

【高知県】【四万十市】【高知労働局ハローワーク四万十】 誘致企業の人材確保のため、共同事業として企業説明会・面接会を実施

【課題・目的】

高知県では県内市町村と連携し、製造業や事務系職種であるコンタクトセンター（CC）、バックオフィス等の企業誘致を独自の支援制度を設けて推進している。高知県及び四万十市がハローワーク四万十の所在する幡多地域では初めてのCCを誘致し、26年3月から事業を開始することとなった。

しかし、CC業務についてあまり知られておらず、苦情処理や債権回収のような心理的に負担のかかる業務であるとの意識が強い、50人の採用を達成するには募集から事業開始までの期間が短いといった課題があった。

そのため、企業の進出が確実となった段階から、高知県及び四万十市からの情報提供を受け、四万十市とハローワーク四万十が連携して人材確保を行うこととなった。

- ・場所：四万十市田野川乙
- ・田野川小学校（休校中）
- ・規模：50名
- ・調印式：1月27日(月)
- ・求人公開1月28日(火)
- ・開始：3月1日(土)



【実施概要】

- ◆高知県・四万十市・ハローワーク四万十・企業と人材確保等について打ち合わせ
- ◆短期間で人材を確保するため、共同して企業説明会・面接会を2回開催
- ◆第1回はCC単独開催、第2回は「幡多地域就職面接会」に参加

【役割分担】

- 【四万十市】
- ◆会場(市の施設)の確保
 - ◆広報紙等による市民への周知
 - ◆当日のスタッフ参加
 - ◆副市長による開会あいさつ

- 【ハローワーク】
- ◆説明会・面接会の企画運営
 - ◆求職者への情報提供
 - ◆障害者の個別相談(1名採用)
 - ◆求職者の紹介

- 【高知県】
- ◆県関係機関や工業団地等を通じた県民への周知
 - ◆当日のスタッフ参加
 - ◆市・企業(本社)との連絡調整のサポート

【効果】

- ◆第1回(2月6日(木))
参加：60名 面接：35名
内定：23名

- ◆第2回(2月20日(木))
参加：53名 面接：28名
内定：25名

＜四万十市コメント＞

県外企業の進出が決まり、人材確保は急務でしたが、ノウハウもないなかで50人の人材を短期間で集めることは、ハローワークの協力なしには到底無理であったと思います。本当に感謝しております。

＜高知労働局コメント＞

四万十市及び高知県とハローワークの十分な連携を図ることができたことにより人材確保を達成できました。今後も、地方自治体との連携をより一層深め、地域の雇用対策に貢献するよう努めます。